

公益財団法人ダイオーズ記念財団「奨学生の集い」

2024年度第1回



6月30日(日)10:00～ダイオーズ三ノ輪本館ビル3階で2024年度「奨学生の集い」を開催致しました。今期は、総勢60名の奨学生(日本学生27名 留学生33名)が集まり賑やかな集いになりました。

留学生の皆さんは様々な国籍で(中国、韓国、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ネパール、バングラデシュ、スリランカ、ロシア、コロモなど)参加頂きました。

今期は、当初40名の採用予定でしたが奨学金応募者が増大し、急遽40名採用から60名に増員致しました。

ダイオーズ記念財団「奨学生の集い」プログラム

- ① 事務局より書類等の説明
- ② 代表理事大久保陸挨拶
- ③ 「ダイオーズ50周年の歩み」鑑賞(創設者大久保真一氏)
- ④ 奨学生自己紹介スピーチ(研究、勉学、趣味、活動等)
- ⑤ グループディスカッション(テーマを設定し意見交換)
- ⑥ 全員で写真撮影(上記写真) 解散



上記写真 新代表理事大久保陸氏の挨拶を皮切りに「ダイオーズ 50 周年の歩み」の動画を鑑賞し、新奨学受給者 43 名が順番に2分間自己紹介スピーチ、その後8グループに分かれてテーマディスカッションを行い、最後に集合写真を撮り無事に終了致しました。





奨学生の皆さんより「奨学生の集い」の所感

武蔵野大学 学士2年 留学生

非常に有意義で感動的な経験でした。多様な視点や価値観を学ぶことができました。異なる環境で育ち、異なる困難に直面しながらも、皆が高い志を持って学び続けている姿に感銘を受けました。

千葉大学大学院 修士1年 女性

ダイオーズ記念財団の創設者や思いを知ることができました。財団創設の目的や、他の奨学生との交流により、私のこれからの研究や学びを、更に前向きに進めていきたいと思いました。

東京大学大学院 修士2年 留学生

「奨学生の集い」に参加し、非常に有意義な時間を過ごすことができました。代表理事の挨拶からは、奨学生への期待と支援の熱意が感じられました。初めての参加でしたが、他の奨学生と交流することで、刺激を受け、自分自身の目標に対するモチベーションも高まりました。これからも、この繋がりを大切に、お互いに切磋琢磨しながら成長していきたいと思えます。



「ダイオーズ 50 周年の歩み」を観た感想

東京医科歯科大学院 修士1年 留学生

私は非常に感銘を受けました。創業者のビジョンや企業の成長過程が丁寧に描かれており、ダイオーズがどのようにして現在の地位を築いたのかがよく理解できました。

東京工科大学 学士3年 男性

動画では大久保真一さんが様々なアイデアを現実にしていく姿が見られました。私も大久保真一さんのように、自らが持つ志やアイデアを形にし、人々の生活をより豊かにできるような人になりたいと思いました。

東京大学大学院 修士2年 留学生

ダイオーズの 50 周年の歩みを紹介する動画は、感動的で印象深いものでした。会社の歴史や成長、そして社会貢献への取り組みを知ることで、奨学生としての責任と誇りを感じました。特に、困難を乗り越えながらも成長を続ける姿勢に感銘を受け、自分自身も研究活動において粘り強く取り組むことの大切さを再確認しました。このような素晴らしい企業の奨学生として選ばれたことを誇りに思います。



奨学生の「自己紹介」を聞いた感想

東京国際大学 学士4年 留学生

他の参加者の自己紹介を通じて、さまざまな背景や目標を持つ人々と出会うことができました。特に、異なる視点や経験を共有することができた、このような貴重な機会をいただき心から感謝しています。

東京大学 博士1年 留学生

奨学生皆それぞれで面白い活動をしていると感動しました。休憩時間の時に趣味の近い人に声かけられ、自分の経験を共有できてとても嬉しかったです。少しでも顔見知りになって嬉しかった。

東海大学 学士3年 女性

自己紹介ではさまざまな研究をしている方がいてとても驚きました。これから日本社会を担っていく研究をしているのだなと感じました。また、話がとても上手で私もこのくらい話せるようになりたいと感じました。とても緊張しましたが自分の言いたいことを伝えることができ、みんなの趣味や研究を知ることができたのでとても良い機会になりました。



「グループディスカッション」に参加した感想

東京大学大学院 修士2年 留学生

7名の少人数での議論は非常に活発で、多くの創造的なアイデアが出ました。異なるバックグラウンドを持つ奨学生たちと意見交換することで、多角的な視点を持つことの重要性を実感しました。

お茶の水女子大学大学院 博士3年 女性

一つのテーマを多角的な視点から掘り下げていけることの面白さを感じました。また、ダイオーズの奨学生の方々は留学生の割合が高く、国際交流ができる点も非常に魅力だと感じました。

東京国際大学 学士4年 留学生

グループディスカッションでは、SNSを活用したプロモーションについて話し合いました。特に、ポスターの掲示やイベントのスポンサー活動、多言語対応のポスターやウェブサイト作成など、具体的なアイデアが多く出ました。異なる視点や経験を持つ参加者と意見を交換することで、新たな発見や学びが多くありました。このような貴重な機会をいただき、感謝しています。





国際ファッション専門職大学 学士4年 留学生

グループディスカッションでは、多くの奨学生たちと和気藹々とさまざまな話題について話し合うことができ、とても楽しい時間を過ごしました。特に、財団の認知度をどのように上げるかという問題解決についての議論は非常に興味深く、有意義でした。

筑波大学大学院 修士2年 男性

多くのバックグラウンドを持つ方と議論することで、自分とは異なる見方からの意見に触れることができ、有意義なものでした。特に大学院生のようなことをしていると、同じ専門の人たちとばかり触れ合うことが多く、なかなか新たな視点を得られないので、こう言った機会は本当に貴重だと改めて感じました。

